

東京病院ニュース

第72号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

平成31年 新年を迎えて

国立病院機構東京病院院長 當間 重人

新年、明けましておめでとうございます。

今年は、十二支でいうと「亥（いのしし）」、さらに詳しく干支でいうと「己亥（つちのと・い）」となります。「己亥」という干支は、十干である「己」と、十二支の「亥」の組み合わせで成り立っています。十干は太陽の日の出から日の入りまでを「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の10に等分、一方、十二支も月の満ち欠けをモデルにして生命の循環を表し、「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」と12に等分していたものであるとのことです。さて、十干（10種）と十二支（12種）を組み合わせると、 $10 \times 12 = 120$ 通りの干支ができることとなりますが、実際には半分の60通りしかありません。それは十干と十二支が経年的に並行して進行するため、 10 （十干） $\times 6 = 12$ （十二支） $\times 5 = 60$ 年で組合せがひと回りするからです。全ての組合せが存在するわけではありません。その後は繰り返しになります。だから、60年（歳）で一回り（還暦）、120年（歳）で二回り（大還暦）。すでにご存じの方には無用の記述、申し訳ございません。さて、干支の十干と十二支の間には相性があるとされているようです。その観点からすると、「己亥」の「己」と「亥」は相反する関係にあり、「己」は植物が成長して整っている様子を表すとのこと。一方、「亥」は植物の生命力が種の中に閉じ込められた状態を表しているらしい。すなわち、種をさらに熟成させるのか？ 発芽して成長するのか？ 干と支がせめぎあう年を意味しているように思われます。しかしながら、期を見て行動を起こすのは常であり、静かに力を蓄え備えるのか、発展のための行動に移るのかは、作戦ごとに決めるべきであります。というわけで、東京病院は干支の意味することを前向きに捉え、改善策ごとの進捗を図って参ります。そして、その進捗状況につきましては、いずれこのページでご報告させていただく予定です。

今年も、患者さんにとってより快適で充実した医療を受けることができる病院づくり、また職員全体にとって気持ちよく楽しく働ける職場環境づくりのため、無限の発展に努める所存でございます。

2019年（平成31年）1月吉日



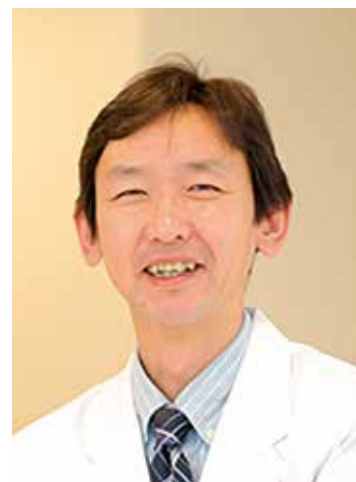
連携医の方を紹介します



水野胃腸クリニック
Mizuno Clinic

院長 水野 滋章 先生

標榜科：内科、消化器内科、内視鏡内科、
胃腸内科、肛門内科、アレルギー科、
腎臓内科



【院長からの一言】

丁寧な診療と説明で、安心して受けて頂ける医療を提供し、健康・長寿のお手伝いを目指して診療しております。内科かかりつけ医として、専門分野に関しては高度なレベルの医療を身近で受けていただけるようにと考えております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 13:00	■	○	○	○	○	○	休
午後 16:00 ~ 19:00	■		○	○	○		休
胃内視鏡 (予約制)		○	○	○	○	○	☆
大腸内視鏡 (予約制)		○	○		○	☆	☆

※窓口受付時間 8:45-12:45 / 15:45-18:45

WEB 受付時間 9:15-12:15 / 16:00-18:15

※○：院長 ☆：不定期、月 2 回

■：女性医師(内科、腎臓内科、アレルギー科、禁煙外来)

※休診日：日曜日不定休、祝日

所在地：〒203-0053 東久留米市本町 3 丁目 8-19 セレブリオ本町 3 丁目 A

連絡先：TEL 042-420-6527

ホームページ：https://mizuno-icho.com/index.html

アクセス西武池袋線「東久留米駅」西口より徒歩 6 分



◆第7回 東京病院 病院祭報告◆

【テーマ】健やかな笑顔で紡ぐ地域の和 もっと知ろう！東京病院 もっと知ろう！清瀬

入場無料 ※ 無料駐車場有り 平成30年
健やかな笑顔で紡ぐ地域の和 12月1日(土)
もっと知ろう！東京病院 もっと知ろう！清瀬 10時～15時

第七回 東京病院祭

外来ホール
11時～11時40分
講演「リウマチの話」
東京病院 院長 富間 重人
13時～13時10分
「清瀬市長からのご挨拶」
清瀬市長 渋谷 金太郎
13時10分～14時10分
アコースティックサウンドライブ
ASK & IRITENA
14時10分～15時00分
健康相談 国立音楽大学 学生さんによる合唱
お薬相談 国立音楽大学 学生さん
栄養相談
食生活相談
スライドショー
放射線検査 Q&A
介護用品展示
職場紹介ポスター

無料体験
午前10時から受付券を配布します。
1人につき、後援1種目の体験券
が配布されます。
年齢制限(30名)
年齢制限(40名)
Body測定(20名)

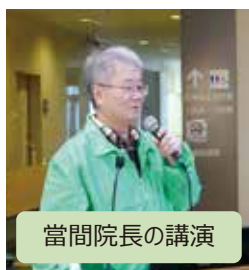
主催：独立行政法人国立病院機構 東京病院
東京都清瀬市竹丘3-1-1
【お問い合わせ】042-491-2111
後援：清瀬市、清瀬商工会

東京病院祭ポスター

第7回東京病院祭は、前回と同様に清瀬市および清瀬商工会の後援を受け、平成30年12月1日の土曜日に行われました。爽やかな師走の冬晴れの日に、約500名の方に参加いただき、病院祭は盛況のうちに終わることが出来ました。メイン会場の外来ホールでは、新しく赴任された当間院長の講演、アコースティックサウンドライブ、国立音楽大学の学生さんによる合唱が行われました。午後のコンサートが始まる前に渋谷清瀬市長のご挨拶がありましたが、市長は会場に到着するやいなや、檀上のピアノの前に座り、ピアノを弾き始めました。曲は「青い山脈」です。さらに、ご挨拶のなかで、清瀬市の歌である「清瀬讃歌」（作詞 星野哲郎、作曲 池辺晋一郎）を披露され、市長の歌声に元気をもらいました。病院祭に参加された皆様は、健康チェック（肺年齢、骨密度、In Body 測定）、健康相談、栄養相談、お薬相談、スライドショー「放射線検査 Q&A」、介護用品展示、職場紹介ポスターなどの企画・イベントを通して、東京病院との和を紡ぎ、学生さんの合唱を聴き、みんなで歌った後は、晴れやかな気持ちで帰路につかれたと思います。

★第7回東京病院祭実行委員長：小林信之

各担当者から一言 & フォトギャラリー



当間院長の講演

病院祭メイン会場の外来ホールでは、当院の当間院長より「リウマチの話」と題した講演が行われました。東京病院にリウマチ科が開設されたこと、「リウマチ」の語源や意味、関節リウマチは膠原病のひとつであること、関節以外にも症状があらうこと、治療薬が格段に進歩していること、などの話を聞くことができました。リウマチ膠原病の分野で日本をリードする当間院長のお話を聴かれた皆様は、東京病院の新しい風を感じたことと思います。

★講演担当：小林信之



渋谷市長の挨拶

コンサートの第1部はアコースティックサウンドライブとしてASK & IRITENAさんにより、つい、「うたた寝」してしま



アコースティックサウンドライブ

ような心地よい演奏を披露していただきました。

第2部では国立音楽大学のみなさんより、多くの方が知っているクリスマスソングなどを披露していただきました。来場者の方からのアンコールの拍手が鳴り止まない盛り上がりとなりました。

★コンサート担当：風岡隆史



【合唱】

職場紹介ポスターは27部署が提示しました。病院に来られた方々に当院の各部門や仕事内容や特徴などをお伝えできるように、職場の写真やクイズやゲームなどアイデア凝らした作品が多くありました。院長賞は肺循環喀血センター、病院祭実行委員長賞は外来、看護部長賞は薬剤部、事務部長賞は歯科、グッドジョブ賞は7西病棟、緩和ケアチーム、5西病棟が受賞しました。それぞれの部門で働く職員の活気を感じ取っていただけたと思います。

★職場紹介ポスター担当：宗方麻理



職場紹介ポスター



介護用品展示

介護用品の展示では、靴やシルバーカー、電動車いすなどの福祉用具の展示を行いました。今年は工事のいらない手すりなども設置し、紹介させて頂きました。日常生活に不自由さを感じられた時には、介護・福祉用品をうまく活用し、安心して生活できるように工夫して頂ければ幸いです。また、あわせて実施した握力測定では約70名と昨年よりも多くの方が体験されました。

★介護用品担当：内田裕子

看護部では体の成分である体水分量や筋肉量などを測定する高精度体成分分析装置（In Body）測定を行いました。とても好評で、結果をもって健康相談を受けられる方も多く、皆さんの健康に関する意識の高さが窺えました。

★In Body 担当 水田友子



In Body

医師 2 名による健康相談を行いました。健康チェックの結果についての簡単な解説や、その他の気になる症状などについて相談をいただきました。いつも外来でお会いする方や、今後診療にいらっしゃる予定とおっしゃるの方も相談に来ていただきました。普段の診療とは違った和やかな雰囲気の中でお話することができました。

★健康相談担当：小宮 正



健康相談

お薬についての疑問や不安などの相談を担当させていただきました。解りやすく丁寧に説明することを心がけてお話しさせていただきました。病院祭以外でも、お薬について疑問や不安がございましたら、お気軽に薬剤師へご相談ください。同じく、解りやすく丁寧に説明することを心がけてお話しさせていただきます。

★お薬相談担当：森 達也

栄養管理室では管理栄養士による栄養相談を担当致しました。食べても太れない、逆に減らしたい、筋肉をつけたい…さまざまな食事へのお悩みをみなさんお持ちのようでした。普段はあまり目にする事のない栄養補助食品なども紹介。日々の栄養管理の一助になればと思います。食べ物は私たちのいのちを支える大切なものです。この機会に食生活を見直して健康な生活にお役立て頂ければと思います。

★栄養相談担当：青野千里



骨密度測定



放射線検査Q&A

放射線科は「採血と血液検査のお話し」と「放射線検査 Q&A」と称して、50 型 TV 2 台と外来ホールにて 15」分程度のスライドショーを上映しました。検査科のご協力を得て、採血の場面で患者様からよく質問される事項について、とても分かりやすく作成できました。また放射線科の各検査に付いて患者さんへのご協力いただきたい事も含めて説明を作成いたしました。来訪者の方から、「採血で痛みを軽減できるんですね。」「MRI の磁力は強力だなー。」等と感想をいただきました。今後さらに充実して、色々な機会に使用できる作品に仕上げたいと思っています。

★放射線科担当：藤田克也

今回も清瀬商工会のご協力を得て出店いただきました。屋内外での出店をしていたたぎましたが、屋外の玄関前では清瀬市の農産物や焼き芋、焼きそば、お団子の販売が行われました。開催日前からの問い合わせも多数あり、当日は心待ちにしていた方々の方々が訪れて大盛況となりました。

★出店・広報担当：風岡隆史



清瀬商工会出店

『ホスピス緩和ケア週間』とは…

「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice & Palliative Care Day)」を最終日とした一週間(今年度は10月7日～13日)を「ホスピス緩和ケア週間」とし世界各国のホスピス緩和ケア関連施設や団体が、様々なイベントを開催しています。清瀬市では、2012年から4病院(複十字病院・信愛病院・救世軍清瀬病院・東京病院)が協働し、ホスピス緩和ケア週間のイベントを行っています。



『清瀬ホスピス緩和ケア週間』のイベント開催しました

講演

「最期まで安心して自分らしく暮らすために ～医療・介護サービスを上手に使う～」

講師: 中島 朋子(東久留米白十字訪問看護ステーション 所長)

祈りのコンサート

♪アヴェ・マリア♪糸 他

演奏: 北川辰彦(バス・バリトン) 北川美歩(キーボード・信愛病院 音楽療法士)

平岡雅美(フルート・救世軍清瀬病院 音楽療法士)

福富香里(パーカッション・信愛病院 音楽療法士)



渋谷市長のご挨拶

シンポジウム

「安心して暮らすことができるために医療と介護の連携」



講演会



祈りのコンサート



シンポジウム

今年度は、4つの病院と東久留米白十字訪問看護ステーション・信愛訪問看護ステーションほほえみ・東久留米なごみ内科診療所との共催で、9月から緩和ケアに関するパネルとウイッシュツリー(お願い事の木)を各施設と西友のクリアギャラリー、東久留米市役所に展示しました。イベント当日の10月20日は、東京病院を会場に午前中は、講演会とミニシンポジウム・祈りのコンサート、午後は、3か所の病院をまわる緩和ケア病棟見学ツアーを行いました。

講演後のシンポジウムでは、自宅で奥さまを看取られたご家族のお話と、その方らしく過ごすために患者さん・ご家族をサポートされた方々のお話があり、地域と病院との連携や情報提供、安心して暮らせる支援体制について共有しました。



パネル展示



ウイッシュツリー



見学ツアー



ホスピス緩和ケア週間開催メンバー

～イベントに参加された方からいただいた感想～

患者様のご主人の言葉を大変重く受け止めました。医療関係者が患者・家族の為に一丸となって取り組む姿勢…そのことがどれだけ患者・家族の力になるのか、あらためて考えさせられました。

緩和ケア認定看護師

村山朋美

シリーズ診断と治療：気になる物忘れの話

昨今の医療技術の進行もあり日本では急速な高齢化が進んでいます。その中で、認知症は社会が抱える最も深刻な問題の一つだと思います。最近では、自動車運転免許更新の際に認知機能検査を受けた方もおられるかもしれません。これは、認知機能が低下した方の交通事故が社会問題化したためです。

ところで、加齢に伴い物忘れを自覚することは決して珍しいことではありません。そこで問題になるのは加齢に伴う生理的な物忘れなのか、あるいは認知症なのかと仰うことです。

そもそも認知症とはどういう病気を言うのでしょうか？ 簡単に言うと、何らかの認知機能（記憶したり、判断したりする機能）の不具合によって日常生活に支障が出るようになり、その障害が持続することです。よくテレビに出ているタレントさんの名前が思い出せなかったり、昨日の夕食のメニューを思い出せなかったりすることがありますが、その場合はあまり問題がないことが多いと考えます。下の表に簡単な病的な認知障害と加齢による物忘れの違いを挙げておきますので参考にしてください。

東京病院では神経内科外来診療のうち専門外来として「もの忘れ外来」を開設しています。2016年の物忘れ外来の初診での診断の内訳をグラフにしました。

認知症の原因疾患としてはアルツハイマー型認知症が最も多いようです。記憶障害が主な症状の疾患です。初診の患者様には比較的軽い方も来院され、生活に支障はないものの何らかの認知機能障害があると判断された軽度認知障害の方も一定数いらっしゃいました。近年レビー小体型認知症の頻度が増えていますが、これは日本の先生によって疾患の存在が明らかになったもので、初期は記憶障害より幻覚や症状の変動を主症状とします。物忘れ外来よりはその他の症状で神経内科外来を受診することが多いようです。

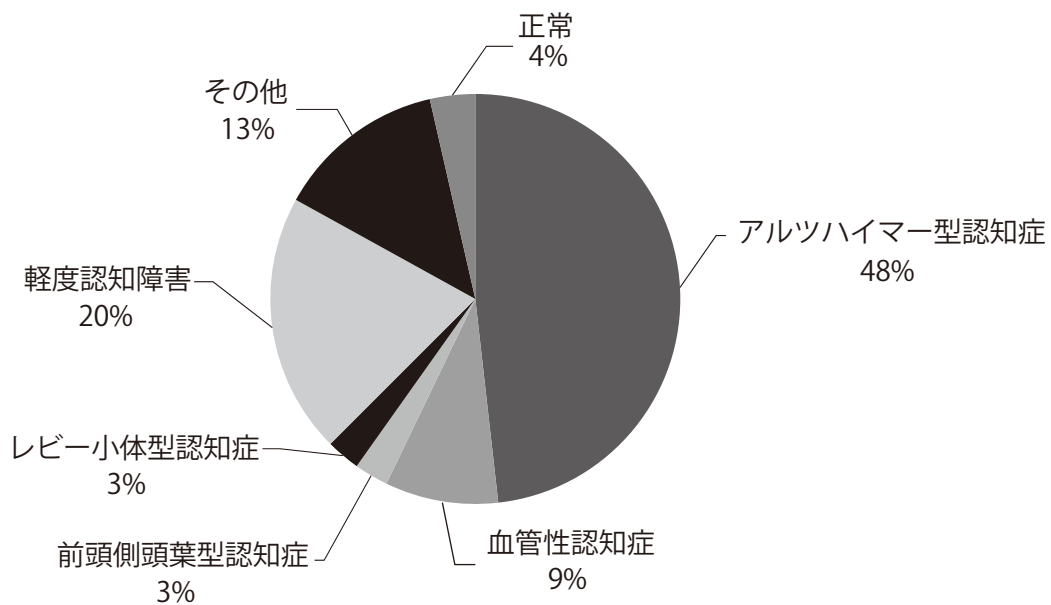
認知症の症状には記憶障害や遂行能力障害といった中核症状と中核症状により引き起こされる妄想（思い込み）やうつ状態、ひどくなれば徘徊といった周辺症状があります。中核症状、周辺症状とも適切な対応により状態を改善することを目的として診療を行っています。残念ながら、現状では認知症を完治させる事はできません。何種類かの薬剤はありますが、薬を飲めば良いと言うものではないのです。そのため、神経内科（もの忘れ外来も含みます）では、患者様、ご家族、介護のスタッフの皆様と協力しながら患者様の状態に合わせて治療計画をたて診療しております。

物忘れが心配で、ご本人、あるいは家族のなかで心当たりがある方は神経内科外来を受診して下さい。その際はできるだけ患者様お一人だけでなく、ご家族などいつも一緒におられる方同伴での受診をお願いいたします。

表 認知障害加齢物れ例

	認知障害	(加齢による)もの忘れ
探し物	重要なものがなくなる 人が盗ったと思込む	置き忘れ 出てきたときに気づく
食事	食べたことを忘れる	食べた内容を忘れる
人物	人物自体が思い出せない 非常に親しい人の名前	名前が分からないが、 その人との関係はわかる
自覚	ないか、あっても軽度 忘れることへの否認	あり
日常生活	支障あり	支障なし

図 もの忘れ外来での診断の内訳



結核について (17)

呼吸器内科 山根 章

前回も、結核の感染についてお話ししました。

要約すると、

- ① 結核の感染と発病は異なる。発病とは結核としての症状やレントゲン異常が出現することである。結核菌に感染しても発病しない人の方が多い。
- ② 結核菌感染者の中で、9割以上の人は自然治癒の状態となるが、体の中から結核菌が根絶されているとは限らず、治癒したように見える病巣の中で菌が生き続けていることが多い。この状態を「潜在性結核感染症」と呼ぶ。

ということでした。

今回も引き続き結核の感染について考えてみたいと思います。

前回、最後に述べたように、結核の感染を発病前に診断して発病を予防することが大切です。従来は感染の診断にはツベルクリン反応（ツ反）を用いていましたが、BCG接種を行ったり、非結核性抗酸菌（結核に似ているが異なる菌）に感染したりした場合には、ツベルクリン反応が陽性になることがあります。従って、多くの人々がBCG接種を受けている我が国では、結核感染の診断にツ反は向いていないこととなります。現在、ツ反に代わって結核感染の診断に用いられているのは、IGRAと呼ばれる検査です。

IGRAとはインターフェロンガンマ遊離試験（interferon-gamma release assays）の略語です。これは、結核菌に対する免疫反応が起こっていることを示すために行われる検査です。免疫反応は白血球の一種であるリンパ球が司っています。検査を受ける人から採取した血液の中にあるリンパ球を結核菌の成分で刺激すると、免疫反応が起こっている場合にはリンパ球は反応を起こし、ある種の蛋白（インターフェロンガンマ）を放出します。従ってこの蛋白が放出されたかどうかを見ることによって、免疫反応が成立しているかどうかを判定することが出来ます。免疫反応が成立している場合には結核菌の感染があったと考えられます。

IGRAには現在クオンティフェロン（QFT）とT-SPOT.TBの2種類があります。測定方法に違いがありますが、性能はほぼ同じと考えてかまいません。ツ反と異なって、IGRAでは結核菌に特有の成分を用いているので、BCG接種の影響を受けません。従って、我が国での、結核感染診断に向けた検査です。

結核感染の危険性が高い人は結核感染診断の対象者となります。たとえば、排菌している結核患者さんの家族や同僚など、結核患者さんの身近にいた人（結核患者接触者と呼んでいます）がそれに当たります。また、結核に感染している場合に発病のリスクが高い人（免疫機能が低下している可能性がある人、糖尿病・悪性腫瘍・膠原病などの患者さんなど）も感染診断の対象となる場合があります。

検査の結果、結核感染があると考えられた場合には、発病のリスクを考慮して、発病予防のための治療を行うかどうかを決めます。発病の予防の手段は、結核菌を殺菌する薬（抗結核薬）を内服することです。発病した結核症の患者さんに対する治療は3～4種類の抗結核薬を組み合わせますが、発病予防の場合には1種類内服するのが普通です。

今回の話はこれで終わりです。

次回は今回に引き続き、結核発病予防についてお話しします。

栄養食事指導について

栄養管理室 岡部 司

東京病院では入院患者さんや外来患者さん、連携医から紹介の患者さんに向けて、管理栄養士が医師の指示のもとに栄養食事指導を行っています。

栄養食事指導とは？

管理栄養士が、病気による食事制限や食生活への不安等のある患者さんに対して、食事についての相談に応じ、患者さんのライフスタイル等に合わせた食事内容の提案を行います。食習慣が改善され病気の治療や悪化の防止に役立つことを目的としています。

栄養食事指導の内容・ポイント

食べられない、偏食、食べ過ぎてしまう、時間が不規則・・・など、患者さんそれぞれの生活習慣や食生活は違います。

栄養食事指導では、日常の食事や、日々の活動状況などを管理栄養士がお伺いして、無理なく改善できるようにお手伝いしていきます。

場合によっては外来受診の度にお話を伺い、検査データにも留意しながら改善点のアドバイス等を継続指導します。

入院中の患者さんに対しては、病院食の説明も行っています。

また、栄養補助食品や嚥下しやすい食品、宅配弁当、低カロリー食品等についても利用方法や購入方法のご案内をさせていただいています。

食事の改善はご家族の協力も大切ですので、都合がつく場合はぜひ一緒に話を聞くことをおすすめします。

*栄養指導を希望される場合は主治医にご相談ください。



栄養相談室の様子です。
(入院患者さんには病棟で
お話しします。)

診療科目

- 内科
- 神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- アレルギー科
- リウマチ科
- 外科
- 消化器外科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科
- 緩和ケア内科
- 感染症内科
- 病理診断科
- 歯科

「人間ドック」・「肺ドック」・「消化器ドック」受付しております。

<実施期間>「人間ドック」：平日の月・木・金曜日のみ

「肺ドック」「消化器ドック」：平日の月～金曜日

<受診を希望される方は>

完全予約制となっておりますので、ご希望の方は下記の予約センターまでお問い合わせください。

【予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日 8:30～15:00】

受付時間：初診 8:30～14:00

(科によって、診療を行って
いない曜日、時間があります)

予約センター 042-491-2181

再診 8:00～11:00

(受付時間平日8:30～15:00まで)

専門外来案内

専門外来名		診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
	禁煙(予約制)	火(午後)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
呼吸器 関係 外来	肺がんセカンド オピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,800円]
	咯血(予約制)	火(午後)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を咯血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
	間質性肺炎(予約制)	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
	難治性喘息外来 (予約制)	月・水・金(午前)	通常の喘息治療でうまく喘息がコントロールされていない難治性喘息の方。
ものわすれ外来(予約制)	水(午後)、 木(第1・3週のみ)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木 (第1週・第3週のみ)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診)。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方かかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、 リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

地域医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい

CT・MRI検査の申し込み : 地域医療連携室へお電話下さい

地域医療連携室

FAX 042-491-2125 (8:30～17:15)

TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅より無料シャトルバス運行中
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。

(駐車場265台)

30分以内 無料

31分～4時間 100円

以後1時間毎 100円

(20時15分～7時 1時間毎300円)

WEB検索

東京病院

検索

